

病名	症状	視力低下	予定される入院期間	患者番号：	患者氏名：	様
月日	/			/		
経過（病日等）	手術（入院）日（入院～手術前）	手術（入院）日（手術後）	術後翌日	退院予定日 年 月 日 又は 日帰り 退院後の生活		
達成目標	手術の準備ができる		術後の安静が保てる 目を保護した生活が送れる 	目の痛みがない 退院後の注意事項が理解ができる		
治療・診察		★診察はありません。 ★翌日の診察まで眼帯を自分では絶対に！はずさないでください。	★医師の診察があります。 □8時20分から眼科外来で診察があります ※水曜日は眼科よりコール有り	□退院後の次回受診日の説明をします		
処置・検査	□手術30分前に点滴を始めます		★眼の検査・処置があります。	★毎回眼底検査をします。 散瞳するため車・バイク・自転車での来院はお控えください。		
薬剤（点滴・内服）・点眼	□お薬はいつも通り飲んで下さい □手術の3日前よりクラビット・ネバナック点眼が処方されているか、点眼薬を持参しているか確認 ※施行していなければOP中止の可能性ある為主治医へ報告 ★手術2時間前より目薬をします。 □術前2時間前より15分毎にミドリンPを3回点眼する ※術式、医師指示を確認し点眼 ※手術時間が予定より1時間遅延した場合、ミドリンPを追加点眼する。その後は30分超過する毎に追加点眼施行 □散瞳確認（瞳孔4～5mm以上に散大しているか確認します） 	★手術後の点眼はありません。	★金属の眼帯（カッペ）は、不要時返却をしてください。 ★防護眼鏡の準備をしてください。 □7時20分 眼帯・ガーゼを外し、 クリーンコットンで術眼清拭する その後ミドリンPを点眼し再度眼帯を付ける （眼帯は優肌絆で貼り付ける） 	★メオガードを手術後より2週間つけていただきます ※売店で購入 		
活動・安静度		□手術後1時間安静を説明 □安静解除後は起きてテレビの視聴可	★自宅で安静にしてください。 ★軽い炊事程度はできます。（その他の家事は禁じます。） 	★家事は軽い炊事程度にしてください。 手術後4日目から事務仕事は可能です 手術後7日目から家事（掃除）は可能です。布団の上げ下ろしは14日目から可能です。 		
リハビリ	□術前・術後特にリハビリは予定していません					
食事	□術前1時間前まで軽食可能	★手術1時間後より飲水・食事ができます。	□7時40分 朝食を摂取 	顔はタオルで拭く程度にです。 洗髪、洗顔は手術後4日目より可能歯磨きひげそりはできます。 お化粧は手術後7日目から可能です 		
清潔			手術翌日より頸から下の入浴が可能です。			
排泄	□制限はありません		安静解除後トイレ歩行可能です	□制限はありません 		
患者さま及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	□出棟前10分～15分前に排泄をすませておいて下さい。 □手術衣（検査着で可能）上半身裸下半身スポン着用可能 □出棟時車椅子にてOP室に向かいます。	★帰宅後、眼痛などの症状があればお知らせください。 ★不安や心配があればご相談ください。	★旅行・車の運転はできません。	★手術後4日目より旅行・車の運転できます。 ★手術後5日目よりお酒・タバコは可能です。 ★糖尿病のある方は2週間程度はお酒は飲まない様にして下さい。 ★手術後14日目より軽い運動ができます。 ★術後1ヶ月は深酒しないで下さい。 ★手術後1ヶ月より毛染めパーマは可能です。 		
退院に向けて （在宅復帰支援計画）相談	退院に向けてお困り事や不安な事がありましたら病棟担当相談員又は担当看護師にご相談下さい		退院後の＜治療計画＞ ・次回受診（ ） 			
その他 （看護計画など）	不安苦痛の緩和に努め手術が安全に行われ退院出来る。		退院後の＜療養上の問題点＞ ・眼を触ること、不潔にならない様感染防止に注意する。眼の圧迫、打撲に注意する。			